

平成30年度 海外留学助成ポストドクトラルフェローシップ 59名

No. 1

第 1 部 門

(部門別、五十音順、敬称略、氏名頭部*：留学中、○：2年助成対象者) (金額：万円)

| 研究者名 | 所属機関 | 職務 | 研究テーマ | 留学先 | 助成額 |
|--------|---|-------|--------------------------------|-----------------|-----|
| 鵜飼 知嵩 | 愛知県がんセンター がん予防医療研究領域 がん予防研究分野 | 主任研究員 | 環境要因と腸内細菌叢、がんゲノム異常の統合解析 | ダナファーマー癌研究所 | 450 |
| 加茂 翔伍 | 京都府立大学 生命環境科学研究科 応用生命科学専攻 | 院生 | 触媒的Birch還元法の開発とMPC1001類の全合成研究 | ピッツバーグ大学 | 390 |
| 佐々木 亮樹 | 新潟医療福祉大学 大学院医療福祉学研究科 医療福祉学専攻 | 院生 | 一次運動野の可塑性に関与する皮質内抑制回路の役割 | アデレード大学 | 450 |
| 佐藤 亮太 | 徳島大学 大学院薬科学教育部 創薬科学専攻 有機合成薬学講座 | 院生 | Markovnikov選択的新規オレフィン官能基化反応の開発 | スクリプス研究所 | 390 |
| 妹尾 奈波 | 静岡県立大学 薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻 栄養化学研究室 | 院生 | ミトコンドリア機能制御における膜リン脂質の役割 | ジョンズ・ホプキンス大学 | 390 |
| 高田 悠里 | 東京大学 大学院薬学系研究科 薬科学専攻 有機反応化学教室 | 院生 | 高機能性ペプチド架橋鎖の開発と応用 | ケンブリッジ大学 | 390 |
| * 辻 信弥 | マックスプランク石炭化学研究所 Homogeneous Catalysis AK List | 院生 | 有機金属構造体によるペプチドの選択的切断反応の研究 | カリフォルニア大学バークレー校 | 450 |
| 東海林 由憲 | 山形大学 大学院理工学研究科 | 院生 | ニッケル錯体を用いた不斉アミノ酸合成 | オルレアン大学 | 390 |
| 松澤 彰信 | 星薬科大学 薬学部 薬品製造化学研究室 | 助教 | 量子化学計算による希土類金属触媒の反応機構解析 | ストックホルム大学 | 390 |

第 2 部 門

(部門別、五十音順、敬称略、氏名頭部*：留学中、○：2年助成対象者) (金額：万円)

| 研究者名 | 所属機関 | 職務 | 研究テーマ | 留学先 | 助成額 |
|---------|--|-----------|---------------------------------|------------------------|-----|
| * 安藤 和則 | デューク大学 細胞生物学部 | ポストドク | 組織再生におけるサイレンサーの同定と機能解析 | デューク大学 | 350 |
| 五十嵐 正和 | 沖縄科学技術大学院大学 科学技術学科 神経生物学研究ユニット | 院生 | マウスの左右前肢協調運動における固有受容感覚の役割 | ソーク研究所 | 450 |
| 上地 浩之 | 東北大学 大学院生命科学研究科 組織形成分野 | 特任助教 | 細胞内タンパク質相分離を制御する代謝産物の解析 | マックスプランク研究所 | 450 |
| ○ 大石 康平 | 東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門 | 特別研究員 | インフルエンザウイルスの複製におけるNEPの機能解析 | マウントサイナイ医科大学 | 390 |
| 門 武宏 | 北里大学 大学院獣医学系研究科 獣医公衆衛生学研究室 | 院生 | マイコバクテリウム属細菌におけるIMD局在機構の解明 | マサチューセッツ大学アマースト校 | 450 |
| 金澤 宏樹 | 上智大学 理工学部 | 特別研究員 | メッセンジャーRNAコード領域を標的とした薬剤設計 | ストラスブル大学 | 390 |
| * 木下 佳昭 | フライブルク大学 Institute of Biology II | 学振海外特別研究員 | シグナル伝達を介した回転分子モーター制御機構の解明 | オックスフォード大学 | 410 |
| 佐藤 茉美 | 新潟大学 大学院保健学研究科 保健学専攻 検査技術科学分野 生化学・分子生物学研究室 | 院生 | 抗がん剤としてのFerroptosis誘発性xCT阻害剤の探索 | ヘルムホルツセンターミュンヘン | 390 |
| 島本 走 | 九州大学 大学院医学系学府医学専攻 ヒトゲノム幹細胞医学分野 | 大学院生 | ヒト原始卵胞の維持機構の解明 | ケンブリッジ大学ウェルカム・トラスト/英国癌 | 450 |

第 2 部 門

(部門別、五十音順、敬称略、氏名頭部* : 留学中、○ : 2年助成対象者) (金額 : 万円)

| 研究者名 | 所属機関 | 職務 | 研究テーマ | 留学先 | 助成額 |
|----------|---|--------|---------------------------|--------------------|-----|
| 下出 孟史 | 近畿大学 大学院医学研究科 分子生体制御学 再生機能医学講座 | 院生 | 副甲状腺ホルモン関連蛋白の骨形成作用の分子機構解明 | マギル大学 | 450 |
| * 新土 優樹 | プリンストン大学 Lewis-Sigler Institute for Integrative Genomics | ポスドク | 胚発生に伴うコアヒストン・バリエントヒストンの置換 | プリンストン大学 | 410 |
| 瀬川 孝耶 | 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター | 任期付研究員 | 腸球菌のフェロモン反応性プラスミド伝達制御の解析 | ミネソタ大学 | 450 |
| * 高畠 賢 | マイアミ大学 Miller School of Medicine Department of Cell Biology | ポスドク | RAGE阻害剤を用いたNASH予防研究 | マイアミ大学 | 410 |
| 竹見 祥大 | 埼玉大学 大学院理工学研究科 理工学専攻 生命科学コース | 院生 | 重篤な低血糖下でのグレリンによる血糖調節機構の解明 | テキサス大学 | 450 |
| 谷口 紗貴子 | 東京大学 大学院農学生命科学研究科 獣医学専攻 食と生体機能モデル学研究室 | 院生 | 神経発達障害におけるカイニン酸受容体の役割の解明 | ノースウェスタン大学 | 390 |
| 津坂 剛史 | 理化学研究所 開拓研究本部 眞貝細胞記憶研究室 | 特別研究員 | 筋幹細胞の老化を規定する新規制御機構の探求 | カリフォルニア大学サンフランシスコ校 | 450 |
| 寺田 豊 | 大阪大学 微生物病研究所 臨床感染症学研究グループ | 特任研究員 | ジカウイルス感染による異常免疫誘導機構の解明 | ラホイヤ・アレルギー免疫研究所 | 390 |
| * 豊田 峻輔 | ヘルシンキ大学 分子医学研究所 | 客員研究員 | 双生児を用いた認知エピジェネティクスの解明 | ヘルシンキ大学分子医学研究所 | 350 |
| 中島 大輝 | 京都大学 iPS細胞研究所 未来生命科学開拓部門 | 院生 | ヒト体節発生期におけるワールブルク様代謝の解明 | ブリガムアンドウィメンズ病院 | 390 |
| * 二本垣 裕太 | ジョンズ・ホプキンス大学 医学部 細胞生物学科 | ポスドク | 新規微小管内腔タンパク質の包括的同定と機能解析 | ジョンズ・ホプキンス大学 | 350 |
| 平川 弘幸 | 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 細胞生理学分野 | 院生 | 骨髄線維症の病態解明と治療法の確立 | コロンビア大学 | 390 |
| 的場 謙 | 大阪大学 大学院医学系研究科 | 特任助教 | 頭部外傷後行動変容メカニズムの解明 | アラバマ大学 | 390 |
| * 宮下 惇嗣 | ダルハウジー大学 Shelley Adamo Laboratory Department of Psychology and Neuroscience | ポスドク | 免疫と生殖のトレードオフ構造とその分子基盤の解明 | ダルハウジー大学 | 410 |
| 湯浅 健一 | 情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター | 特別研究員 | ヒト大脳皮質における知覚意識の神経ダイナミクス解明 | ニューヨーク大学 | 390 |

第 3 部 門

(部門別、五十音順、敬称略、氏名頭部* : 留学中、○ : 2年助成対象者) (金額 : 万円)

| 研究者名 | 所属機関 | 職務 | 研究テーマ | 留学先 | 助成額 |
|---------|-----------------------|---------|-------------------------------|--------------------|-----|
| ○ 相川 忠夫 | 北海道大学病院 循環器内科 | 医員 | 左室収縮が保持された心不全に対するSERCA2a遺伝子治療 | マウントサイナイ・アイカーン医科大学 | 450 |
| 泉尾 直孝 | 千葉大学 大学院医学研究院 細胞治療内科学 | 学振特別研究員 | 脳梗塞後認知症に関連する後天的体細胞変異の同定 | メルボルン大学 | 450 |
| ○ 宇仁 暢大 | 東京大学 医学部附属病院輸血部 | 特任臨床医 | 化学療法抵抗性白血病に対する新規治療法の開発 | スローンケタリング記念癌センター | 450 |

第 3 部 門

(部門別、五十音順、敬称略、氏名頭部* : 留学中、○ : 2年助成対象者) (金額 : 万円)

| 研究者名 | 所属機関 | 職務 | 研究テーマ | 留学先 | 助成額 |
|----------|--|----------|-----------------------------------|------------------------|-----|
| 小川 博司 | 札幌東徳洲会病院 脳神経外科 | 医長 | 高周波律動を用いた脳機能・てんかんネットワーク診断 | トロント小児病院 | 450 |
| 小野木 康弘 | 富山大学 医学薬学研究部 薬学系 病態制御薬理学 | 研究員 | インスリン抵抗性進展における脂肪細胞の機能的変化 | ミュンヘン環境健康研究センター | 450 |
| 戒田 篤志 | 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 口腔放射線腫瘍学分野 | 助教 | HSP40/DNAJA1を標的とした癌特異的な新規治療法の開発 | カンザス大学 | 450 |
| 梶 誠兒 | 京都大学 大学院医学研究科 脳病態生理学講座 臨床神経学 | 特定研究員 | オリゴデンドロサイト成熟・機能修復因子の同定と解析 | ミュンヘン工科大学 | 450 |
| 瓦井 裕也 | 千葉大学 医学部附属病院 整形外科 | 医員 | 股関節痛の病態解明と運動器慢性疼痛の新規治療の開発 | マギル大学 | 450 |
| 黒田 雄一 | 神戸大学 大学院医学研究科 外科系講座 整形外科学分野 整形外科学部門 | 院生 | 人工関節置換術のバイオメカニクスに関する研究 | ケンブリッジ大学 | 450 |
| * 小林 洋輝 | ハーバード大学 医学校附属ジョスリン糖尿病センター Section on Genetics and Epidemiology | ポスドク | マイクロRNAを用いた糖尿病性腎症の進展機序の解明 | ジョスリン糖尿病センター | 90 |
| 齋藤 那由多 | 東京慈恵会医科大学 内科学講座 呼吸器内科 | 助教 | 慢性閉塞性肺疾患における細胞老化とリプログラミング | バルセロナ生物医学研究所 | 390 |
| * 佐藤 博紀 | メモリアルスローンケタリング癌センター 分子腫瘍学部門 | ポスドク | マイナー変異を標的とした治療の標準化 | スローンケタリング癌センター | 410 |
| * 田畑 範明 | ボン大学病院 ボン心臓病センター | リサーチフェロー | 低侵襲次世代心血管治療の臨床研究 | ボン大学病院 ボン心臓病センター | 410 |
| 沼田 貴史 | 東京医科大学 医学部 皮膚科学分野 | 病院助教 | マスト細胞を中心としたアトピー性皮膚炎の病態解明 | スタンフォード大学 | 450 |
| * 野々村 優美 | チューリッヒ大学 Department of Dermatology Zurich University Hospital | 客員研究員 | 悪性黒色腫におけるチロシンホスファターゼの役割 | チューリッヒ大学 | 350 |
| * 樋口 貴史 | カリフォルニア大学 サンディエゴ校 医学部 外科学 | 客員研究員 | 肉腫の転移浸潤メカニズムの解明と新規治療の開発 | カリフォルニア大学サンディエゴ校 | 410 |
| 久田 諒 | 北海道大学 大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室 | 客員研究員 | Th17関連免疫疾患におけるAcylCoA合成酵素ACSL4の役割 | ハーバード大学医学大学院 | 450 |
| 福富 光 | 京都大学 大学院医学研究科 放射線医学講座 (画像診断学・核医学) | 院生 | 多発性硬化症における認知機能障害の診断と病態の解明 | ボルドー大学 | 450 |
| 古舘 健 | 弘前大学 医学部附属病院 歯科口腔外科 | 医員 | 癌微小環境の癌関連線維芽細胞による癌制御機構の解明 | テキサス州立大学MDアンダーソンがんセンター | 450 |
| 三浦 俊介 | 東京大学 大学院医学系研究科/医学部 皮膚科学教室 | 助教 | 乾癬におけるTRMとIL-17Cに関する研究 | ロックフェラー大学 | 450 |
| * 森 雄太郎 | ハーバード大学 医学大学院 プリガムアンドウィメンズ病院 内科腎臓部門 | リサーチフェロー | KIM-1に関連した糖尿病性腎臓病の病態解明と新規創薬 | ハーバード大学 | 410 |
| 屋木 祐亮 | 京都薬科大学 代謝分析学分野 | ポスドク | 診断と治療を可能にする前立腺がん分子プローブの開発 | ビュルツブルク大学 | 450 |
| 山梨 豪彦 | 鳥取大学 医学部附属病院 精神科 | 助教 | ケトン体はうつ病、PTSDの新たな治療となりうるか | アイオワ大学 | 450 |

第 4 部 門

(部門別、五十音順、敬称略、氏名頭部*：留学中、○：2年助成対象者) (金額：万円)

| 研究者名 | 所属機関 | 職務 | 研究テーマ | 留学先 | 助成額 |
|--------|---|-------|----------------------------|------------|-----|
| * 高木 優 | オックスフォード大学 オックスフォード ウェルカム トラスト センター フォー インテグレイティブ ニューロイメーjing | 招聘研究員 | 深層学習を用いた意思決定における前頭葉機能の解明 | オックスフォード大学 | 350 |
| 中島 尚 | 新潟大学 大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野 | 客員研究員 | 生体材料を用いた消化器難治性疾患に対する研究 | ハーバード大学 | 450 |
| 平塚 健 | 慶應義塾大学 医学部 腎臓内分泌代謝内科 | 共同研究員 | 3Dプリンターによるミニ腎臓作成と腎線維化モデル構築 | ハーバード大学 | 410 |